

**製品名: MAP2 (3B5) マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM03341**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:50-1:100, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	-

**抗原情報**

遺伝子名	MAP2
別名	Microtubule associated protein 2; MAP2A; MAP2B; MAP2C
遺伝子 ID	4133
SwissProt ID	P11137
免疫原	MAP2 の合成ペプチド

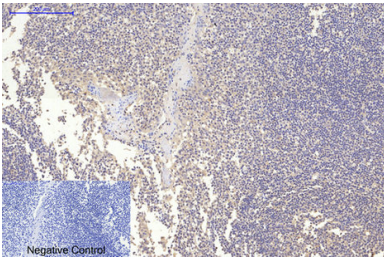
**背景**

MAP2 の正確な機能は不明ですが、MAP は微小管の脱重合を安定化させる可能性があります。また、微小管を硬化させる作用もあるようです。

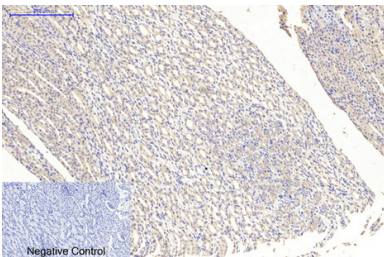
## 研究分野

神経科学

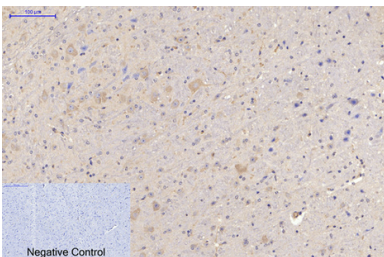
## 画像データ



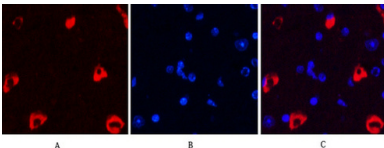
MAP2 (3B5) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



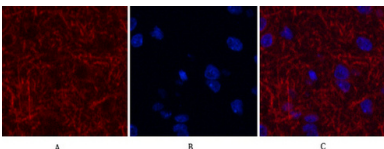
MAP2 (3B5) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



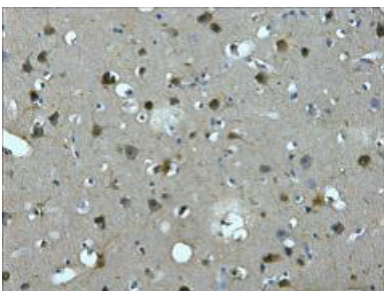
MAP2 抗体を用いたパラフィン包埋マウス脳組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧・高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。ネガティブコントロールとして、二次抗体のみを用いた。



MAP2 (3B5) 抗体 (7D4) (赤) および DAPI (青) を使用したマウス脳組織中の MAP2 (3B5) の免疫蛍光分析。



MAP2 抗体(7D4)(赤)および DAPI(青)を使用したラット脳内の MAP2 の免疫蛍光分析。



MAP2 (3B5) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。

